～認知症の状態に合わせたサービスの流れ～

認知症は少しずつ進行していきますが、そのスピードは人によってさまざまです

段階			軽度		中等度	重度
		認知症の疑い、軽度認知障害（MCI）	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子		もの忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成などを含め、日常生活は自立している。	買い物や事務、金銭管理にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい。	着替えや食事、トイレなどがうまくできない。	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である。
支援体制	相談・家族支援	**地域包括支援センター**、在宅介護支援センター、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員、ケアマネジャー				
		オレンジカフェ、認知症家族のつどい				
	予防	生きがいデイサービス（介護認定を受けていない方）				
		サロン、サークル活動、老人クラブ、いきいき百歳体操			通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護	
	医療	かかりつけ医・かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局				
			認知症疾患医療センター、医療機関（神経内科、精神科）			
	介護		訪問系サービス、通所系サービス、短期入所、福祉用具貸与、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、介護老人保健施設（要介護1～）			
	生活	高齢者バス乗車証、配食サービス、宅配サービス、「ささえ愛」（家事支援・移動支援）、シルバー人材センター、高齢者タクシー				
		配食サービス、見守り協定（みやぎ生協、郵便局、河北新報、ジェイエイ）、民生委員・児童委員、SOSネットワーク、認知症サポーター、地域住民				
			消費生活相談、日常生活自立支援事業（まもりーぶ）、成年後見制度、権利擁護サポートセンター			
	住まい	軽費・有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅				
				認知症対応型共同生活介護（グループホーム）（要支援2～）		
					特別養護老人ホーム（要介護3～）	